

横浜市東部方面斎場 (仮称)の整備について

配信期間：令和3年10月25日(月)～11月24日(水)

横浜市 健康福祉局 環境施設課

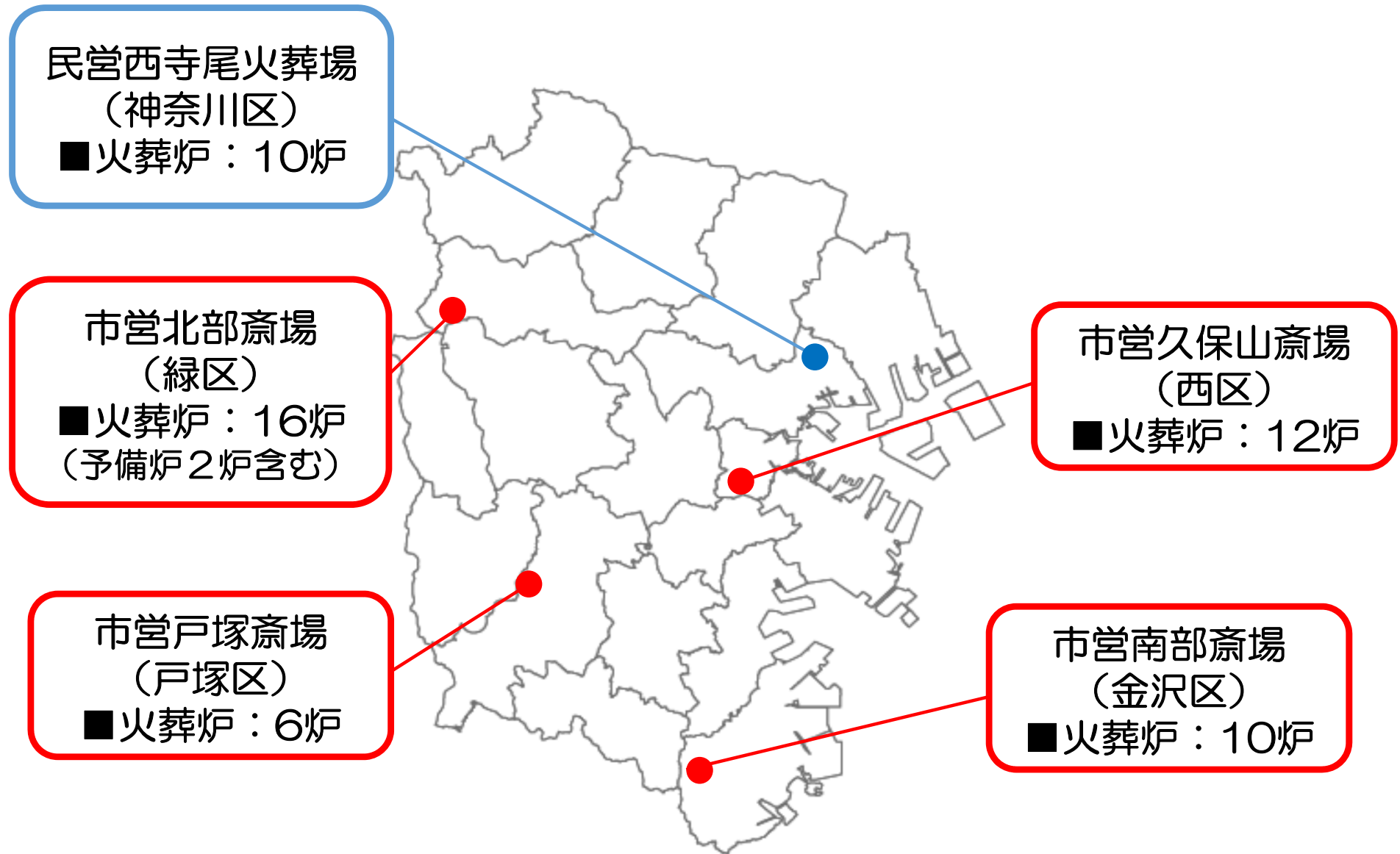
目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計状況
- III 今後のスケジュール

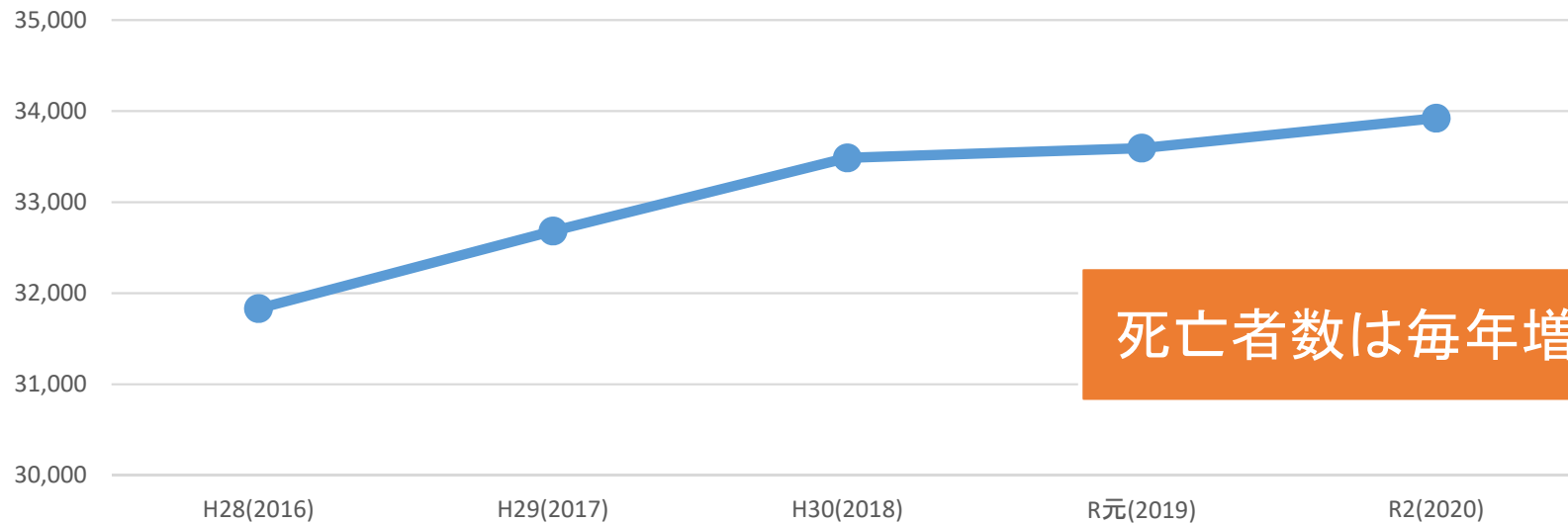
目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計状況
- III 今後のスケジュール

市内斎場の配置図(現在)



最近5か年の市内死亡者数



	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
死亡者数	31,833人	32,684人	33,487人	33,594人	33,923人
前年比	+1,100人	+851人	+803人	+107人	+329人

I 横浜市の現状

市内斎場の火葬実績

(単位:件)

年度	市営斎場		久保山斎場	南部斎場	北部斎場	戸塚斎場	民営	合計
	合	計					西寺尾 火葬場	
平成28年度 (2016)	29,399		8,985	6,296	9,395	4,723	2,282	31,681
平成29年度 (2017)	30,253		9,183	6,493	9,677	4,905	2,558	32,816
平成30年度 (2018)	30,806		9,314	6,597	10,198	4,697	2,408	33,214
令和元年度 (2019)	31,471		9,798	6,300	10,408	4,965	2,355	33,826
令和2年度 (2020)	31,095		8,675	7,666	10,643	4,111	2,402	33,497

近年、増加傾向

市営斎場の火葬待ち日数

	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
4斎場 平均	4.01日	4.28日	4.46日	4.49日	4.56日

火葬待ち日数は年々長期化

※ 日数の計算方法

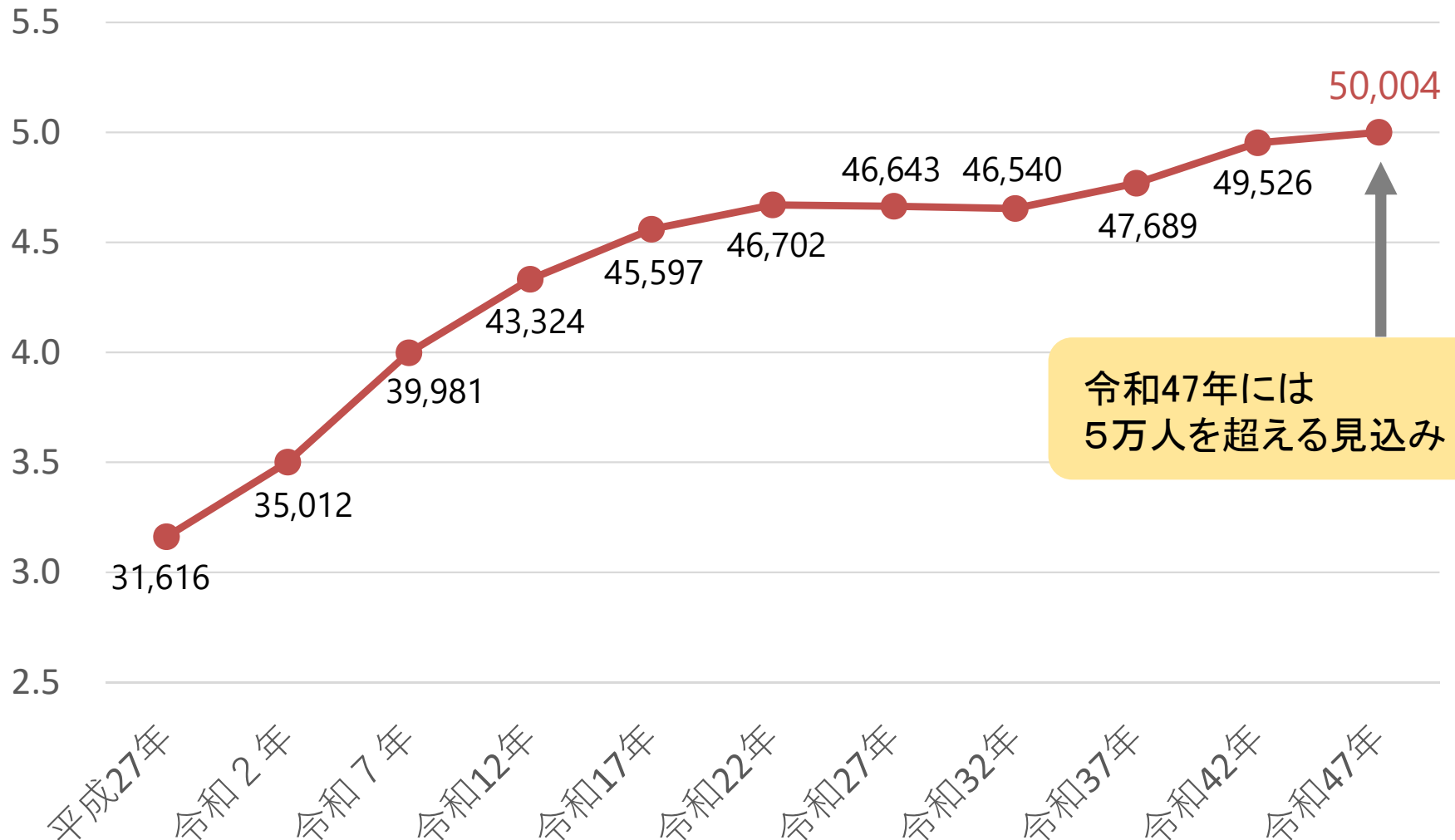
(法律の規定により死亡後24時間以内は火葬ができないため、死亡日の翌日から起算)

(死亡日) (起算日) (火葬日)

月曜日 → 火曜日 → 水曜日 = 火葬待ちは1日

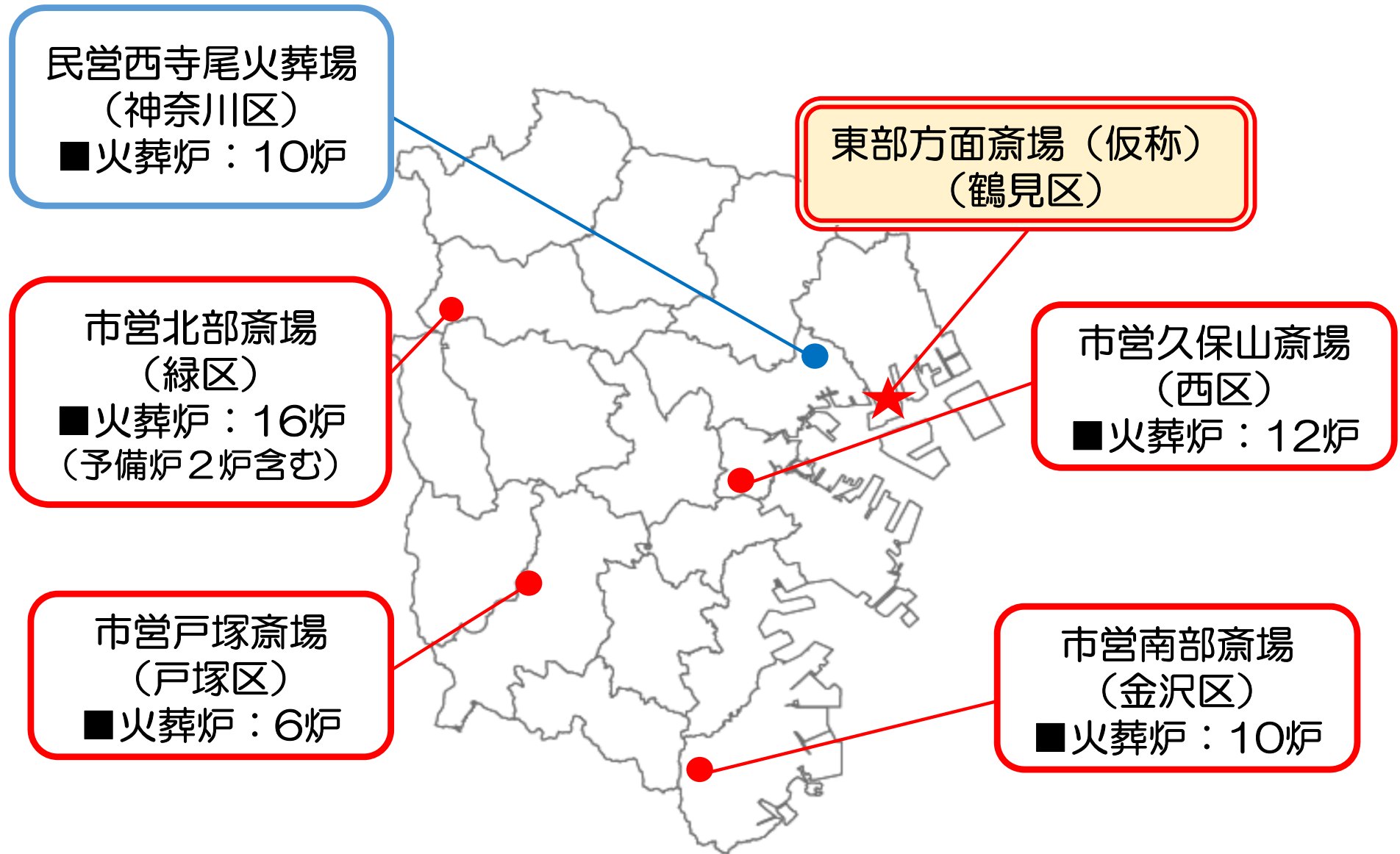
横浜市の死亡者数推計

(単位：万人)



※平成27年国勢調査(平成27年10月1日時点)の人口を基準とした推計

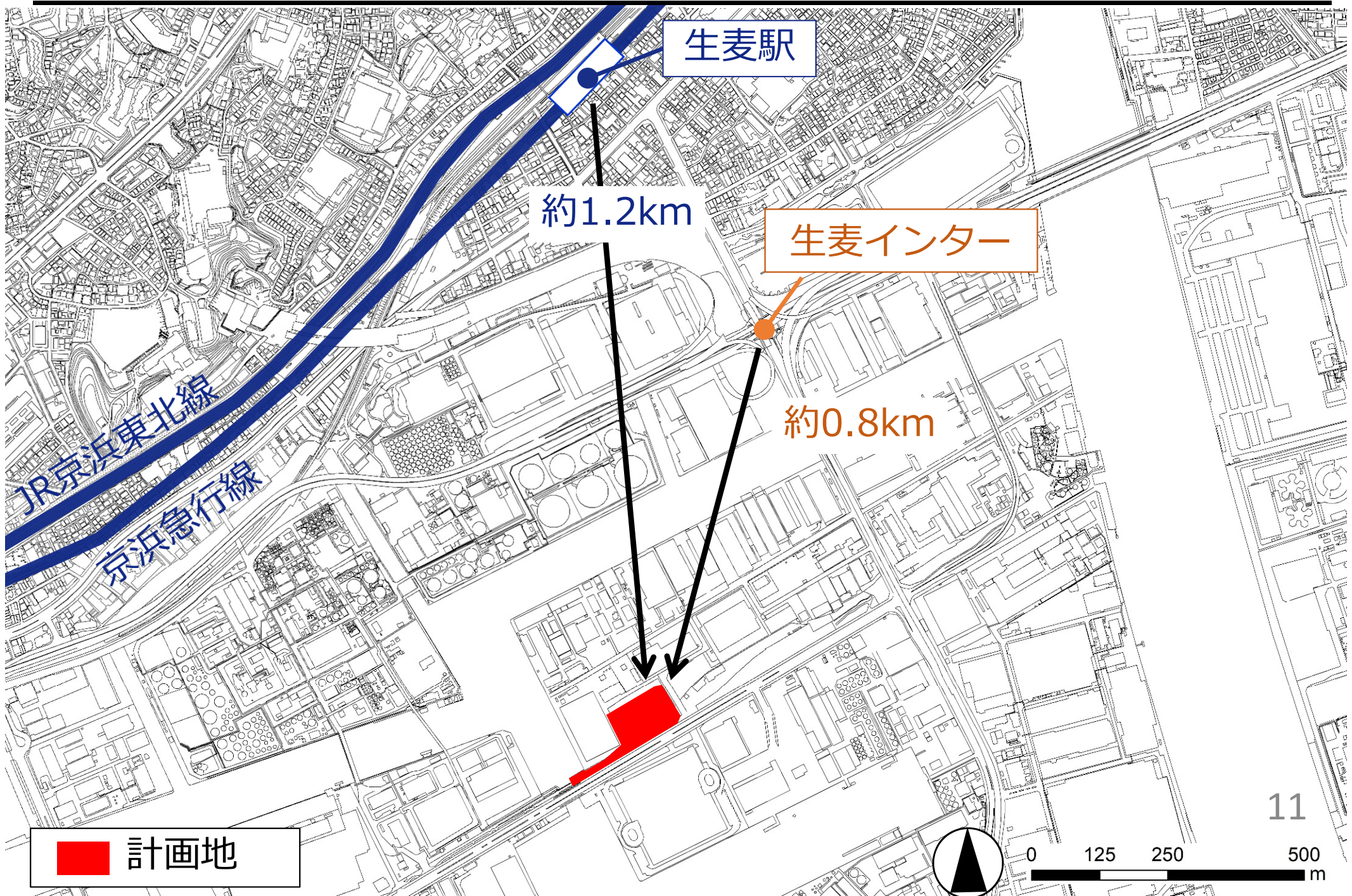
市内斎場の配置図(計画)



目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計状況
- III 今後のスケジュール

Ⅱ-1 計画地



Ⅱ-1 計画地



所在	鶴見区大黒町18-18ほか	面積	約11,000平方メートル
用途地域	工業専用地域	建蔽率 容積率	60% (緩和適用により70%) 200%
臨港地区	横浜港臨港地区	現況	鶴見区スポーツ広場 (暫定利用中)ほか 12

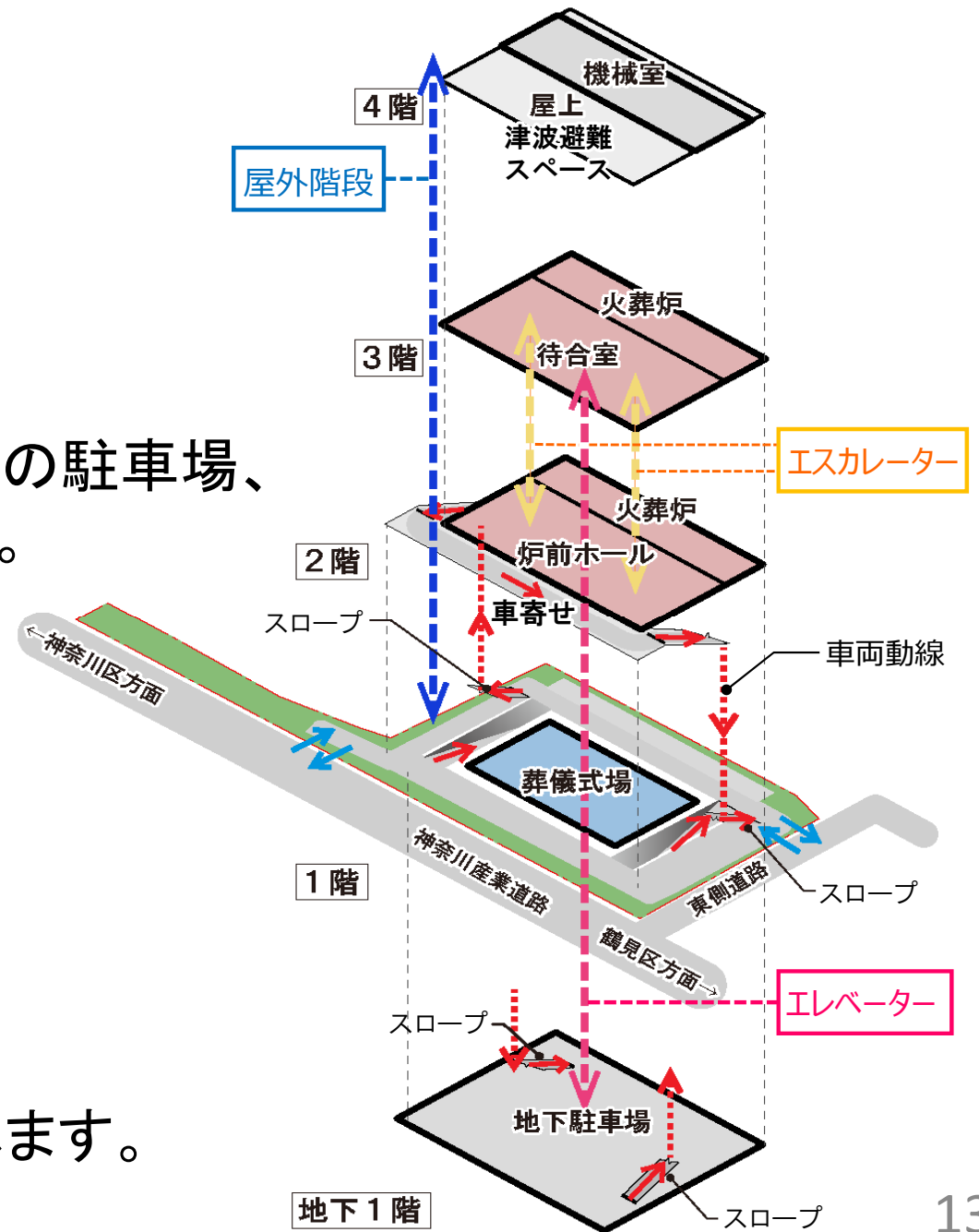
Ⅱ-2 建物構成イメージ

【建物の規模】

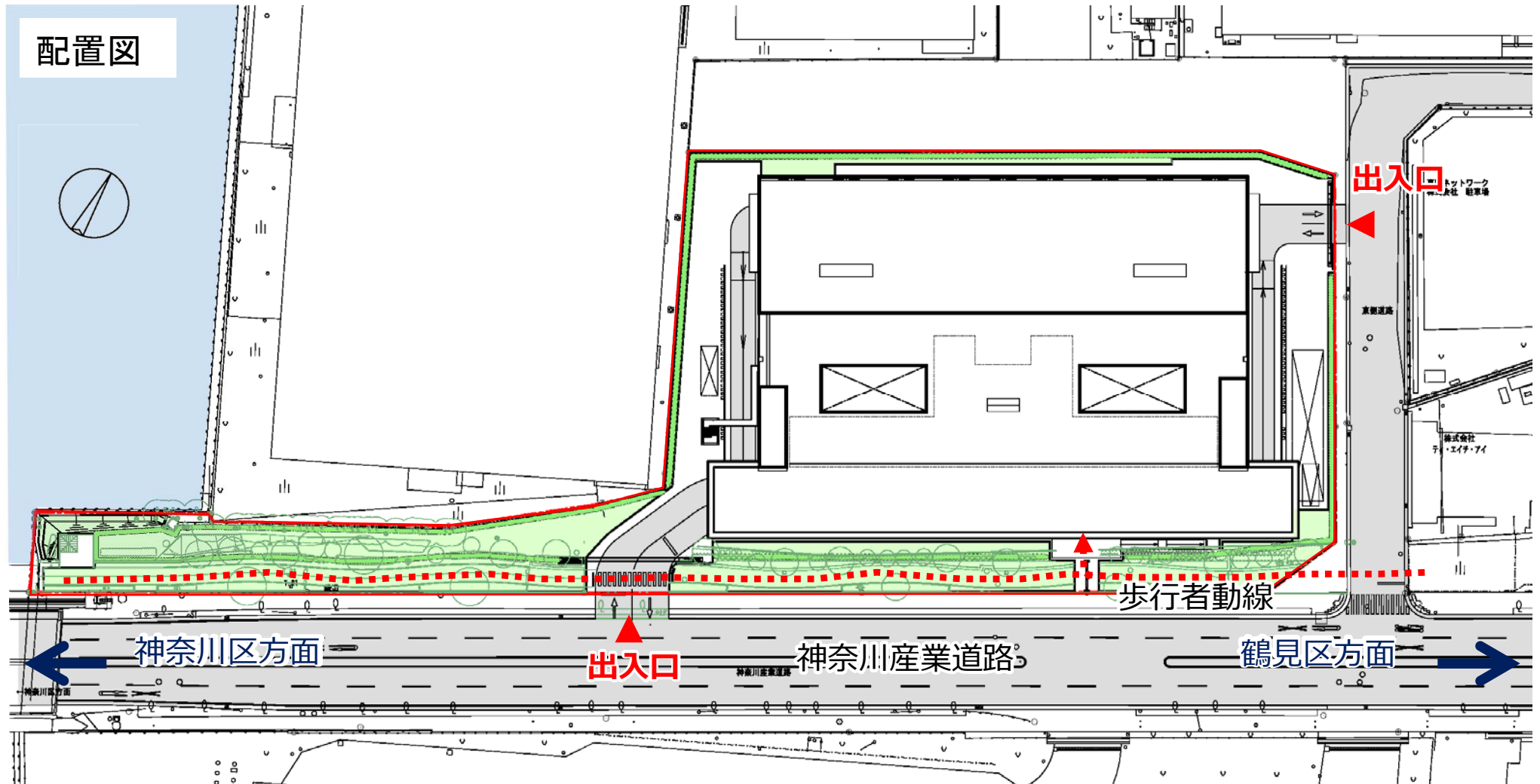
- ・延床面積 約 22,000m²
- ・階数 地上4階／地下1階

【各階へのアクセス】

- ・来場車両は、スロープで地下1階の駐車場、2階の車寄せまでアクセスします。
- ・斎場利用者の移動は、地下1階から3階までエレベーターで上下移動します。
- ・火葬部門の2階と3階の間には、エスカレーターも整備します。
- ・津波発生時には外部から屋上へアクセスできる屋外階段を設置します。

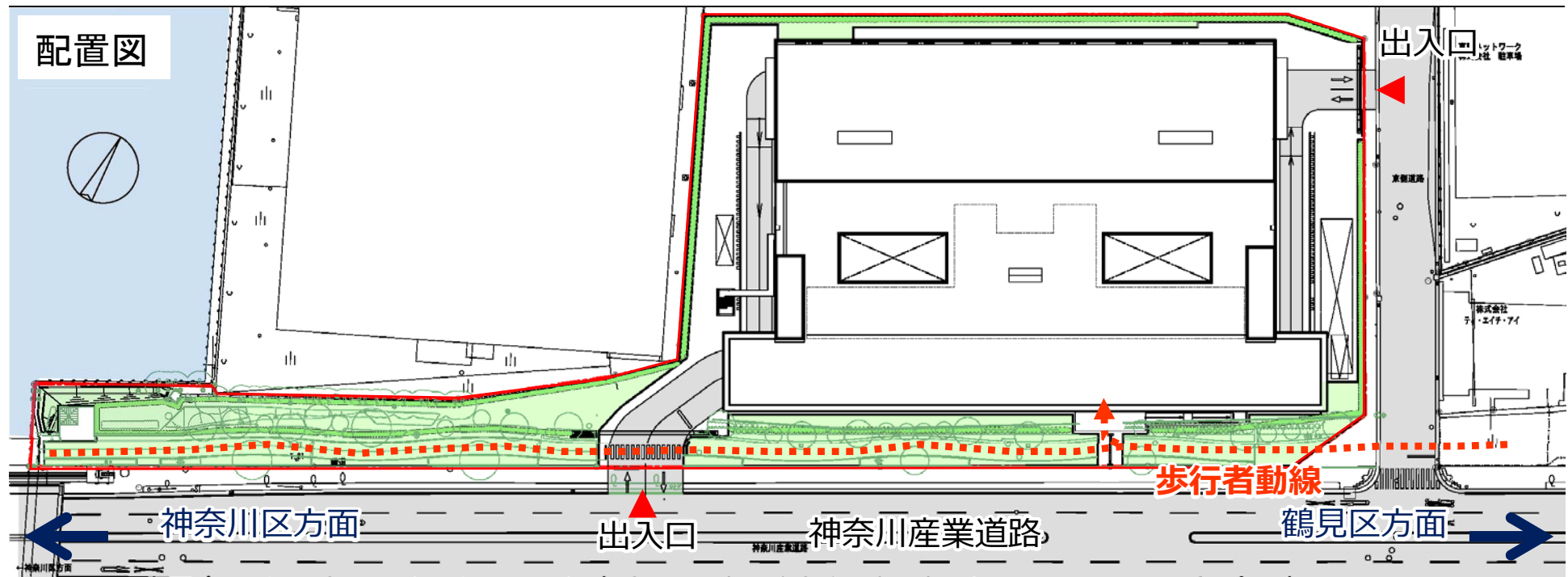


Ⅱ-3 配置計画



- 敷地に設ける車両の出入口は、南側の神奈川産業道路と東側の市道に1か所ずつ設けます。

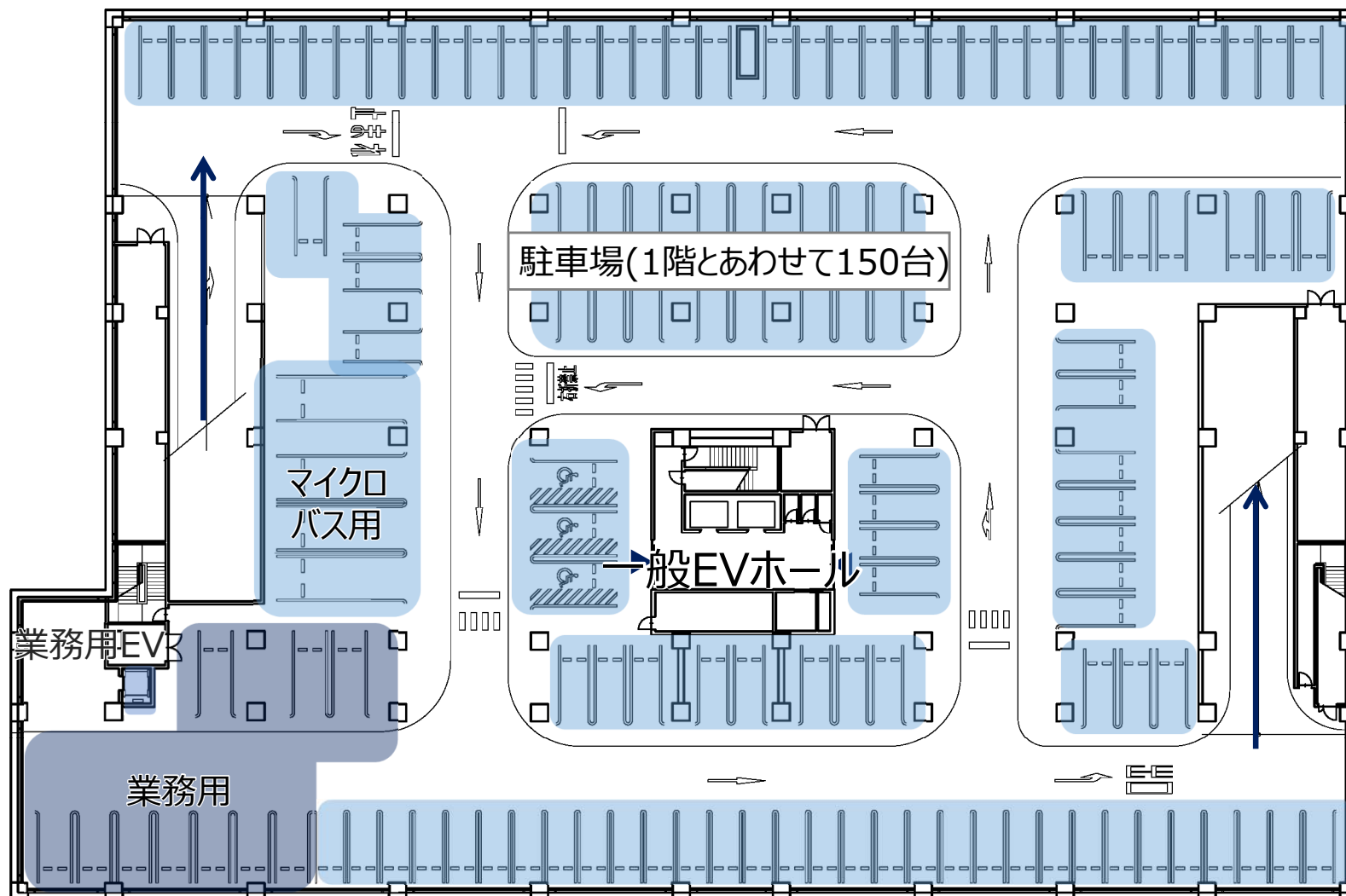
II-3 配置計画



- ・神奈川産業道路の沿道には、斎場計画地から既存公園まで連続性を考慮した緑地を整備します。
 - ・斎場計画地内にある緑地には、歩行者用のアプローチを設けます。
- 15

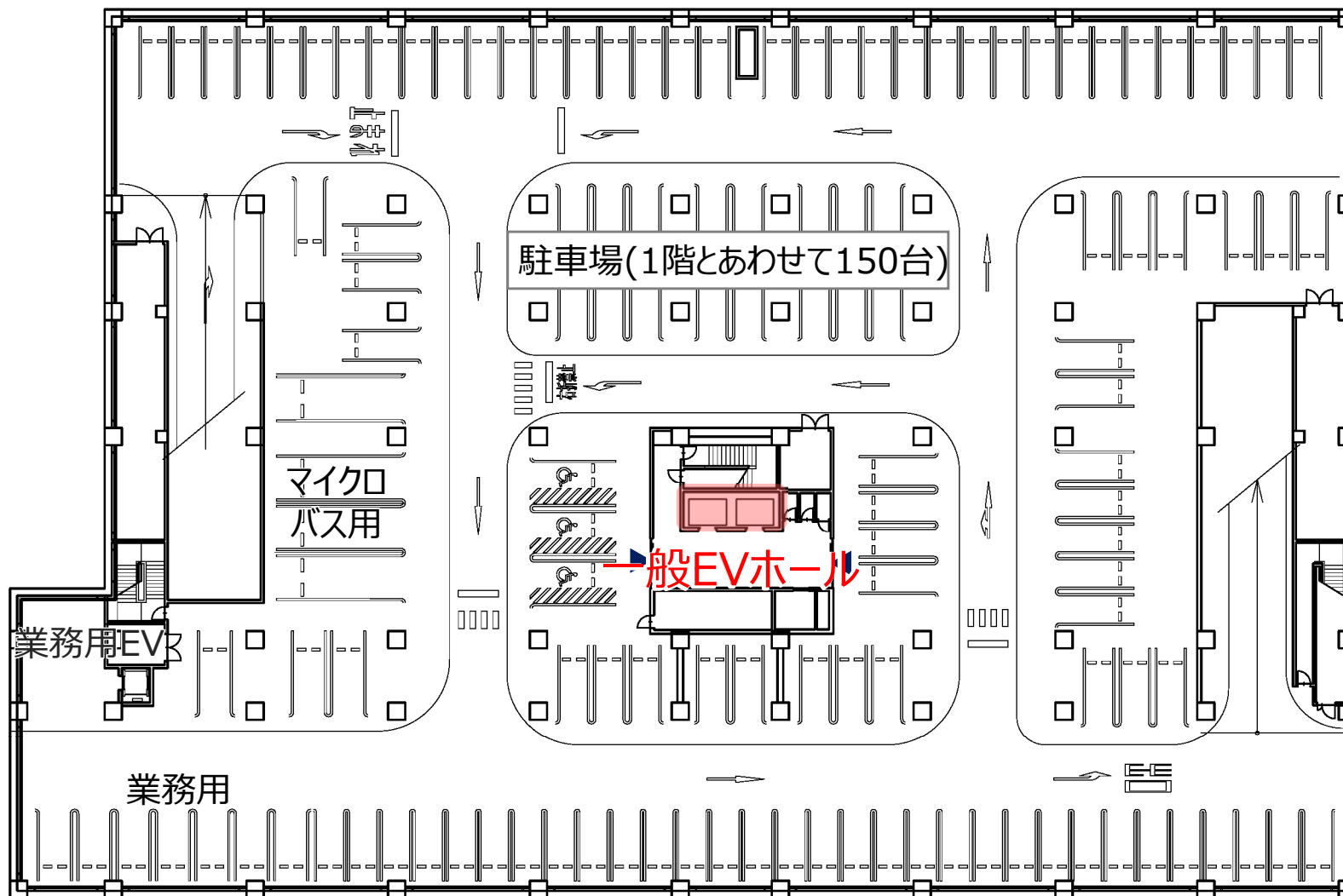
Ⅱ-4 地下1階平面図

- ・地下1階は、駐車場とします。
- ・駐車台数は、地上1階部分と合わせて150台を計画しています。



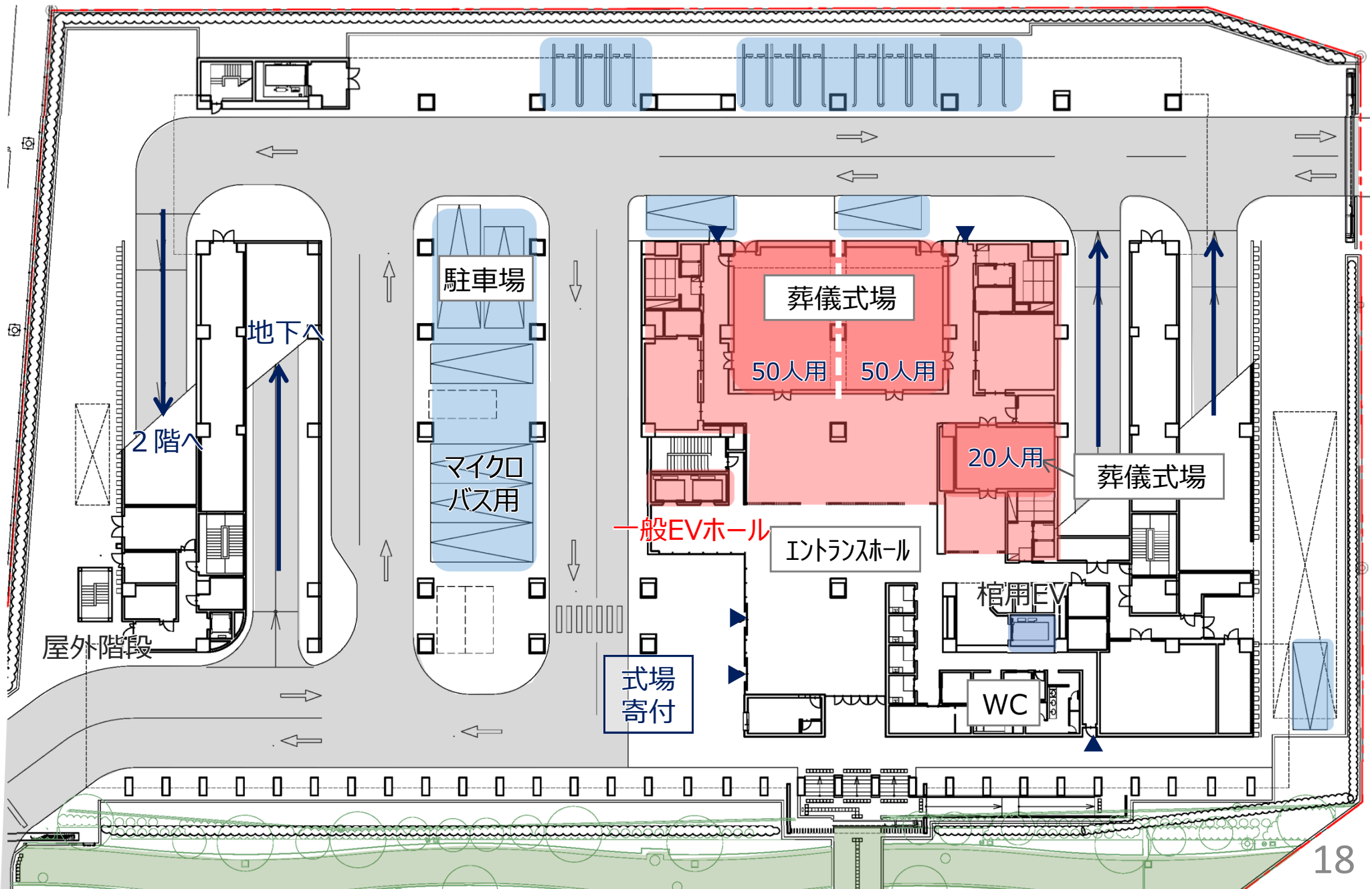
Ⅱ-4 地下1階平面図

- 中央には、地下1階から3階まで連絡するエレベーターを配置します。



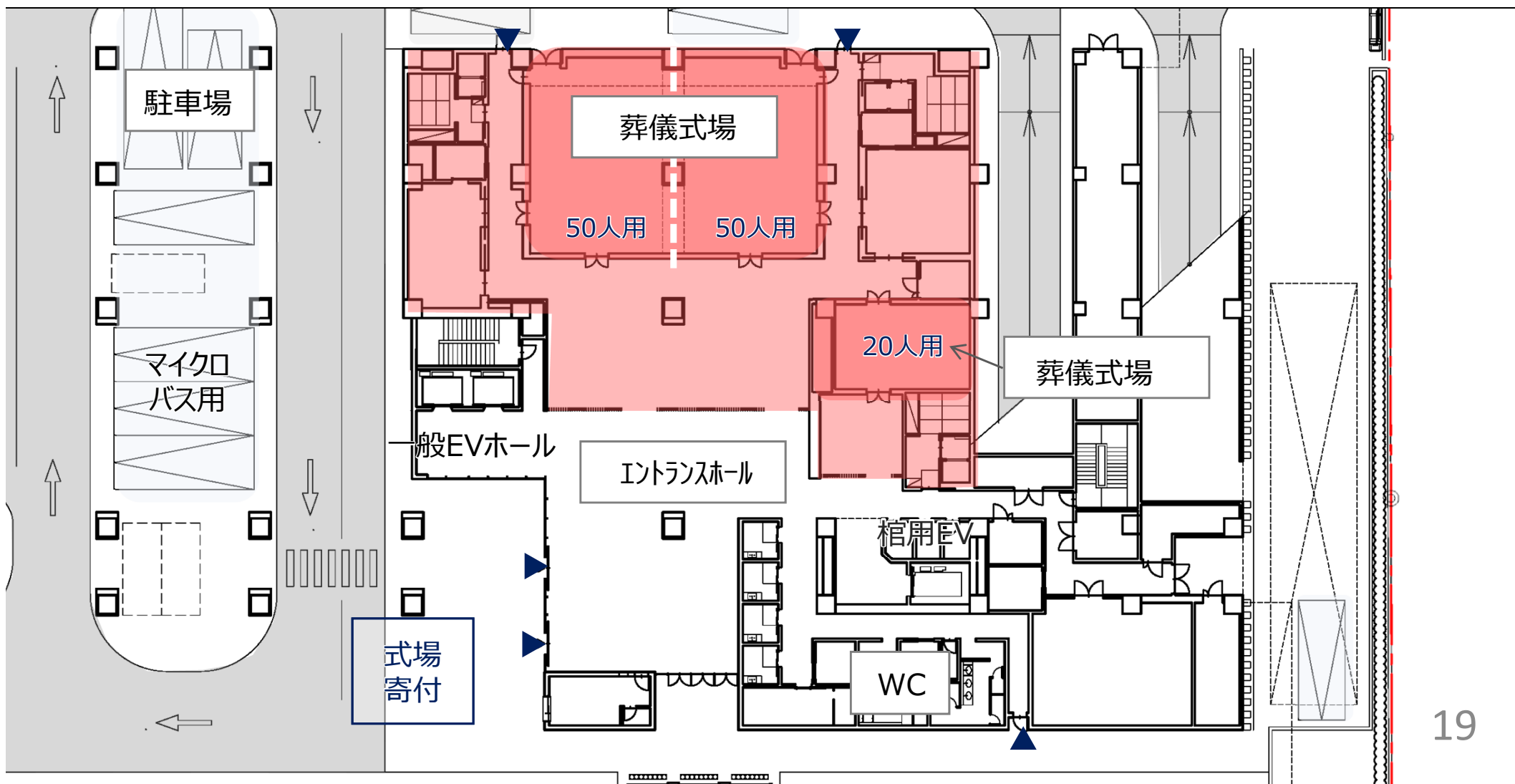
Ⅱ-4 1階平面図

- ・1階は、主に通夜・告別式等を行うフロアとしています。



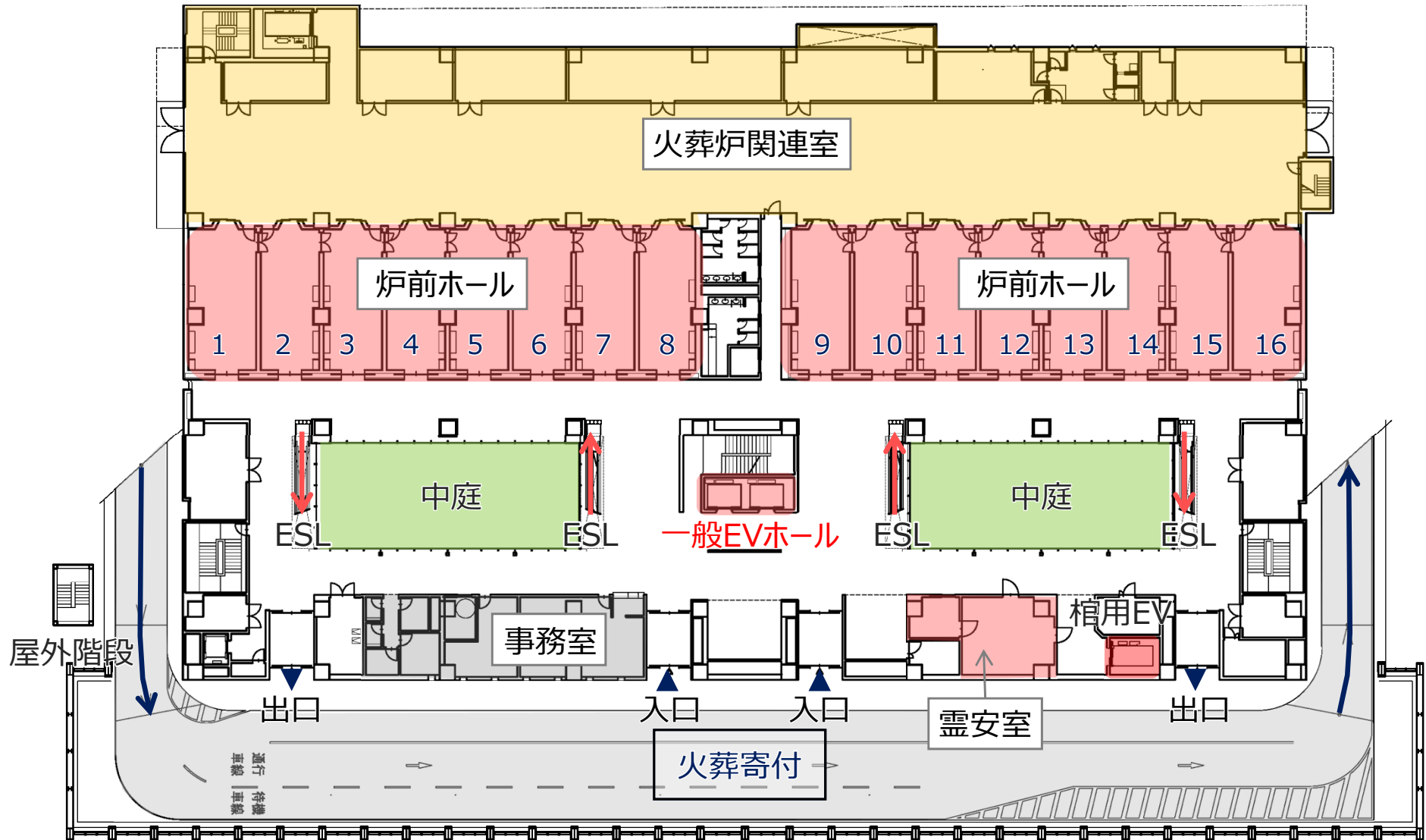
Ⅱ-4 1階平面図

- ・葬儀式場は、中央の約50人用の式場2室に加えて、約20人用の式場を1室設けます。
- ・中央の約50人用の式場は、可動間仕切りを移動し、2室をあわせて一体的な式場としてもご利用いただけます。



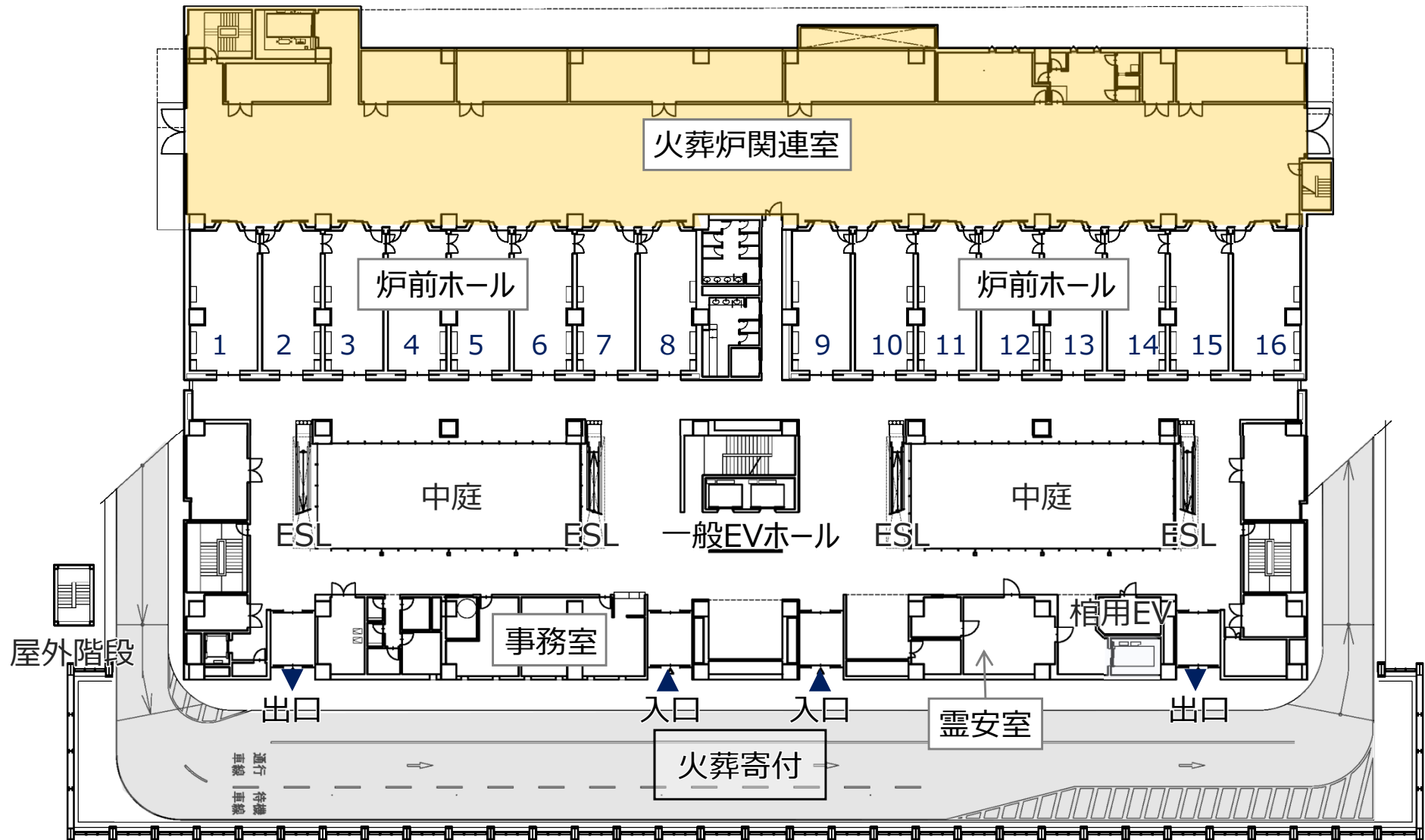
Ⅱ-4 2階平面図

- ・2階は、火葬を行うフロアとします。



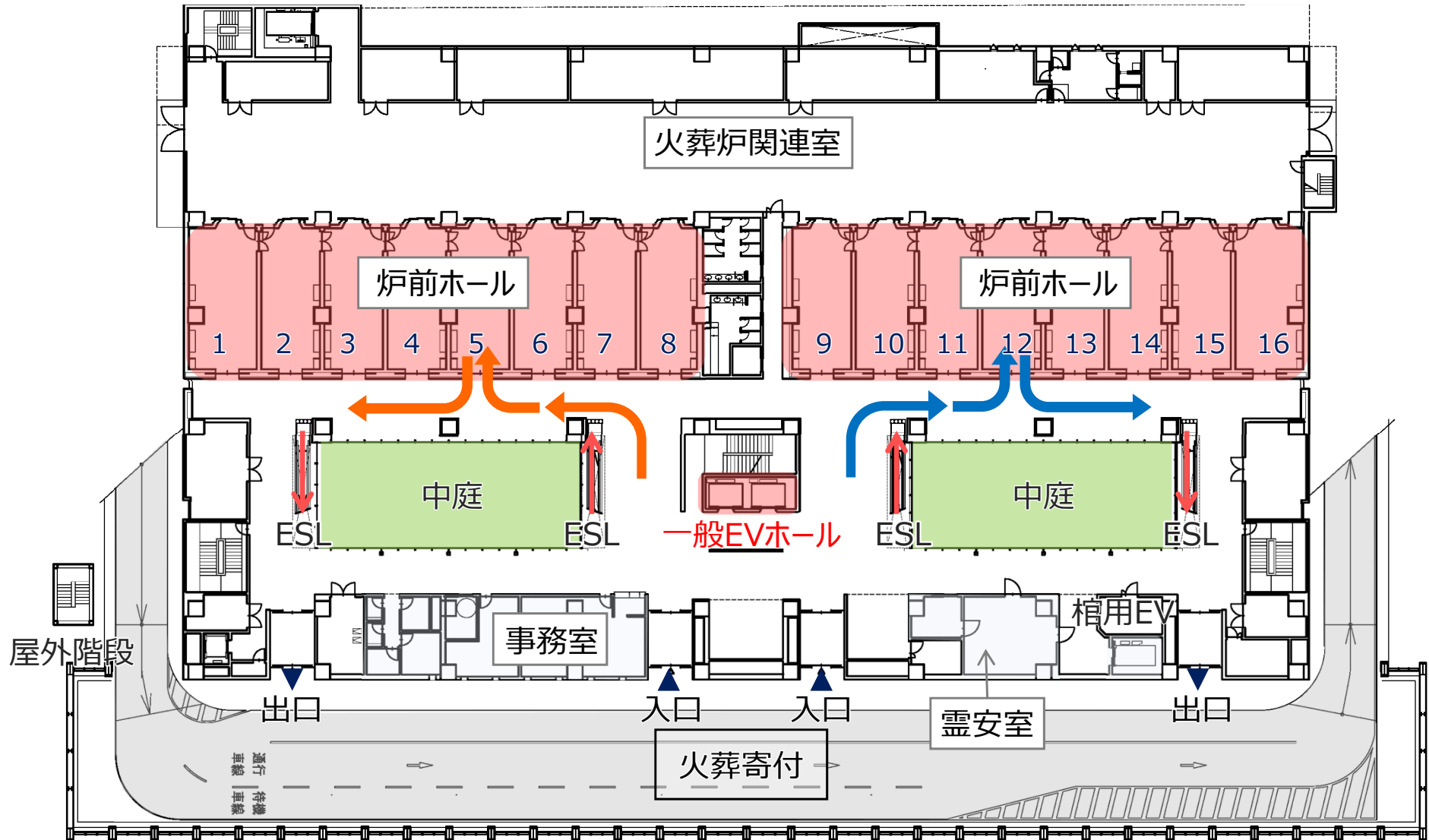
II-4 2階平面図

- 火葬炉16炉を、図の黄色で示している北側部分に一列に配置しています。



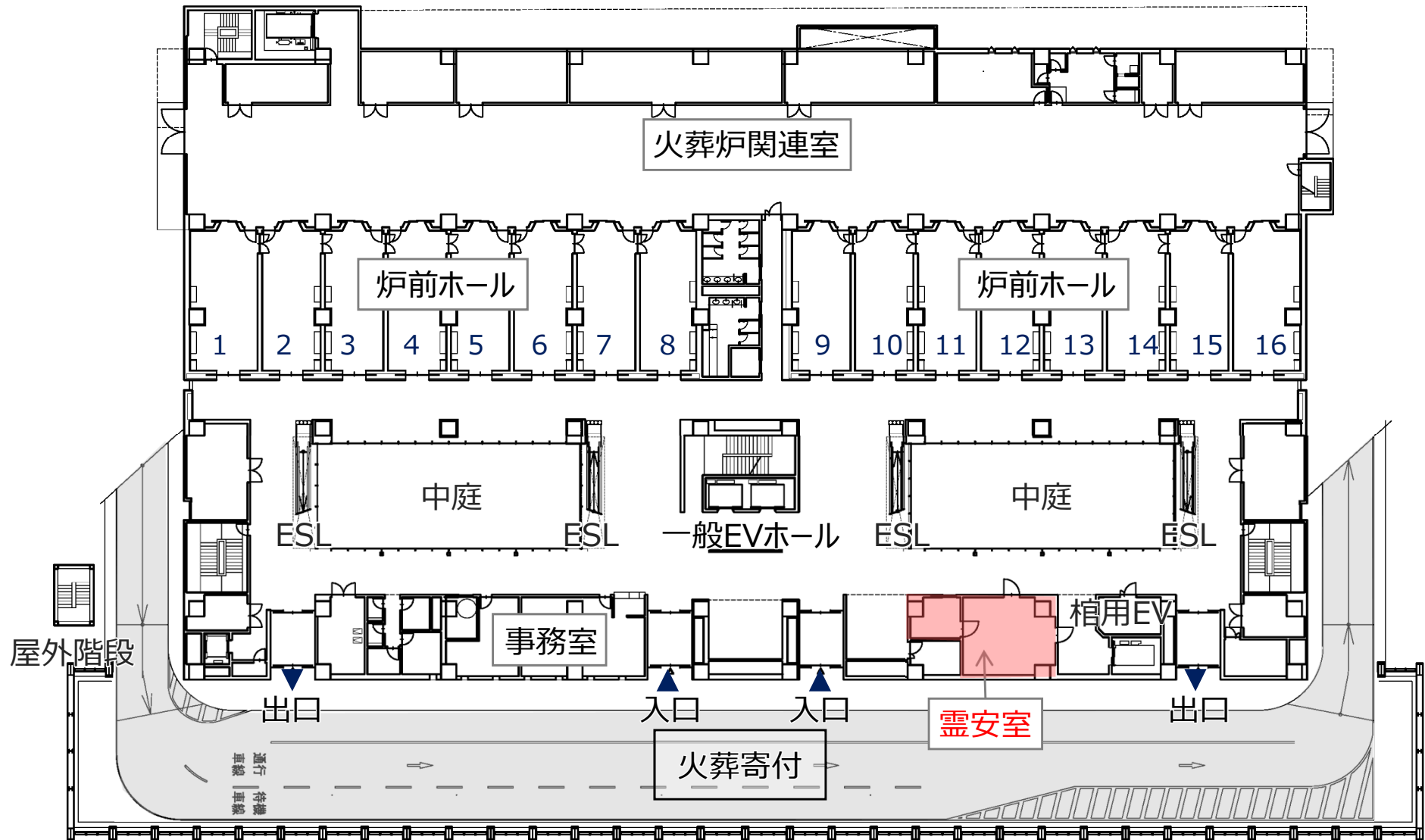
II-4 2階平面図

- 火葬炉1炉に対し、炉前ホールを1室整備し、中央のエレベーターで左右のゾーンに分け、混雑の緩和を図ります。



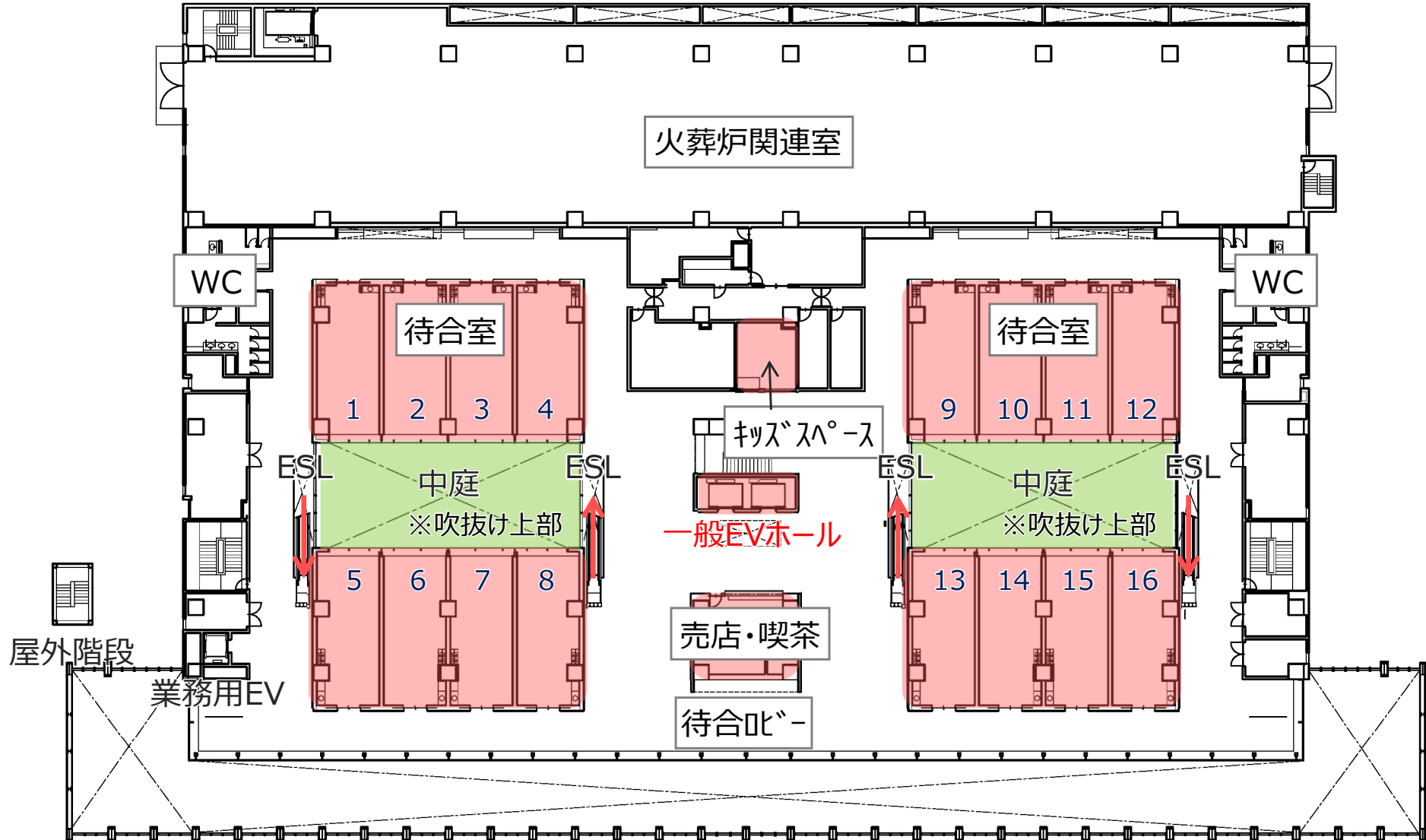
Ⅱ-4 2階平面図

- ・霊安室は、ご遺体を約10体お預かりし、面会室も設置します。



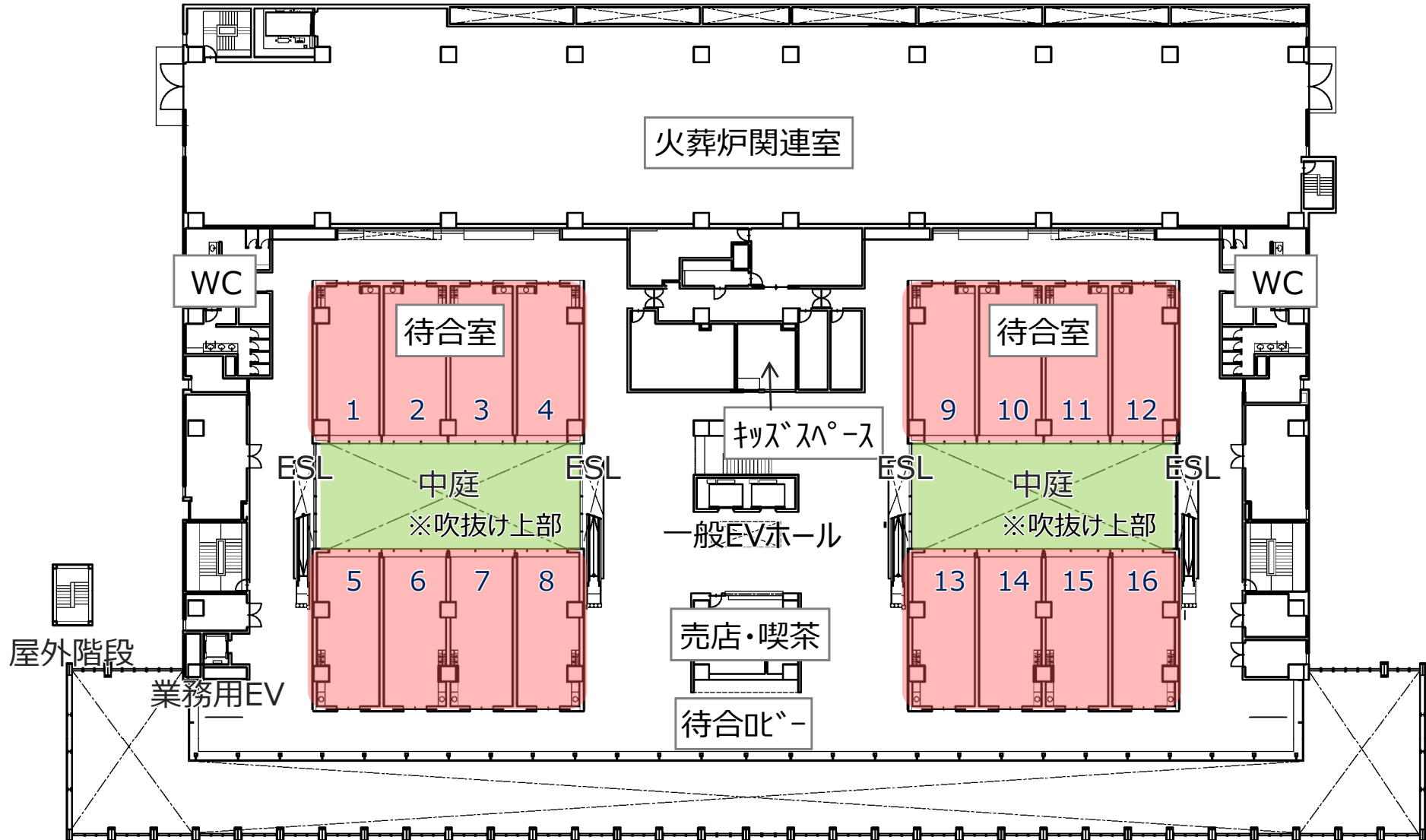
II-4 3階平面図

- ・3階は、火葬の間、ご遺族や会葬者の方にお待ちいただくフロアとしています。



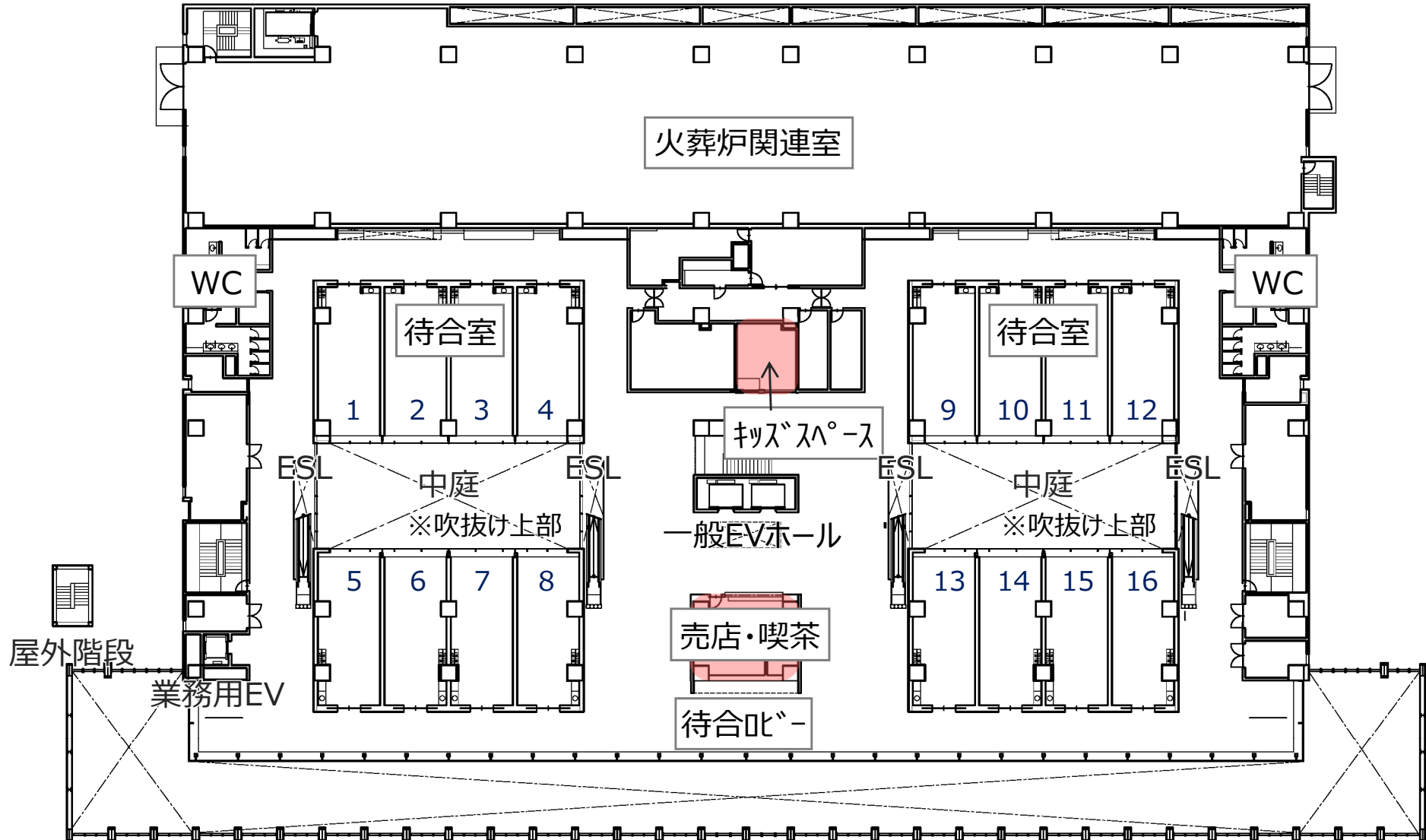
II-4 3階平面図

- ・待合室は40人用とし、中庭に面する配置とします。
- ・火葬炉と同数の16室設けます。



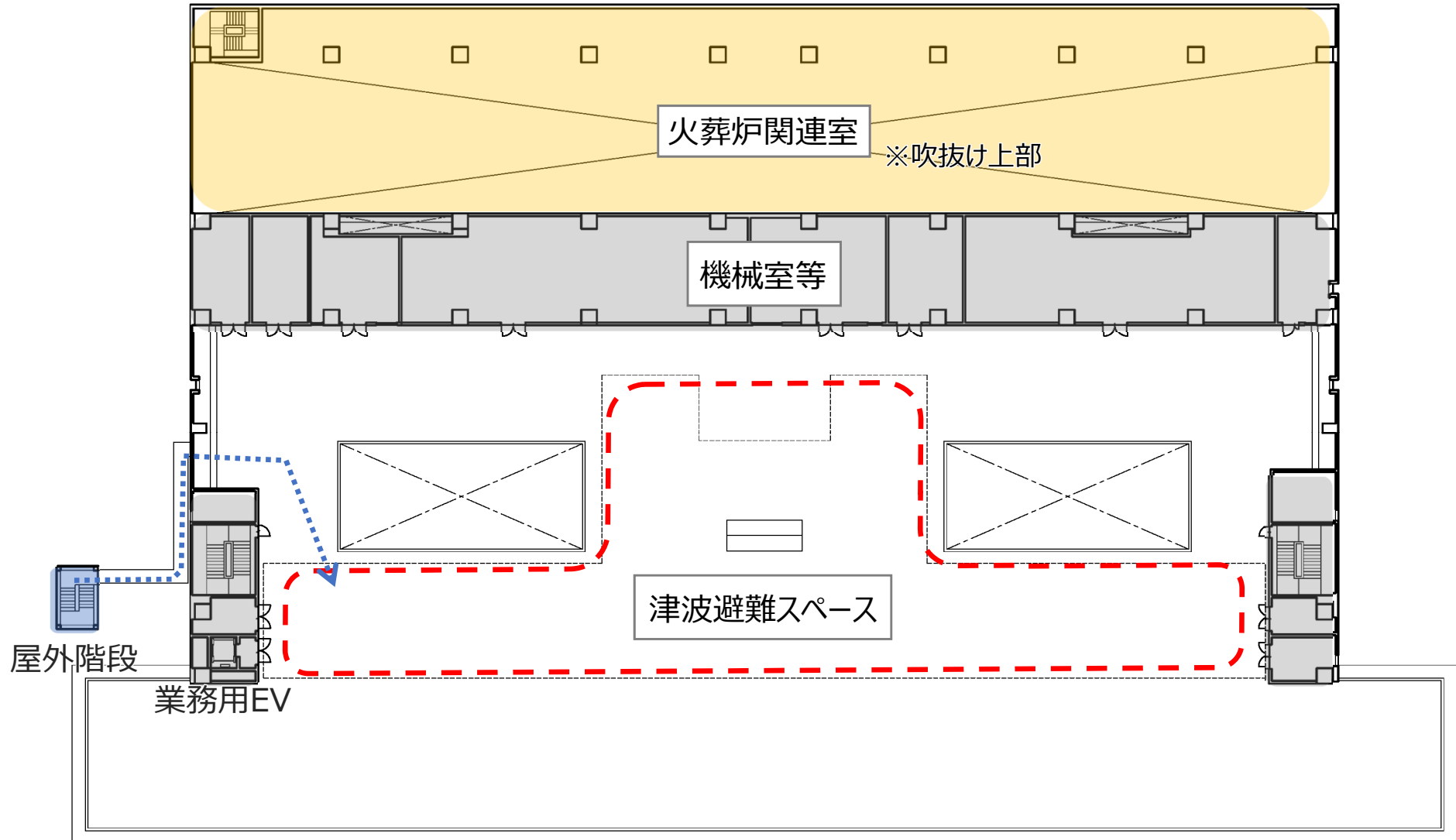
II-4 3階平面図

- ・中央部分には、待合ロビーや売店・喫茶機能のほか、キッズスペースを設けます。



Ⅱ-4 4階平面図

- ・4階は、北側に機械室等を配置し、南側に津波発生時の避難スペースを設けます。

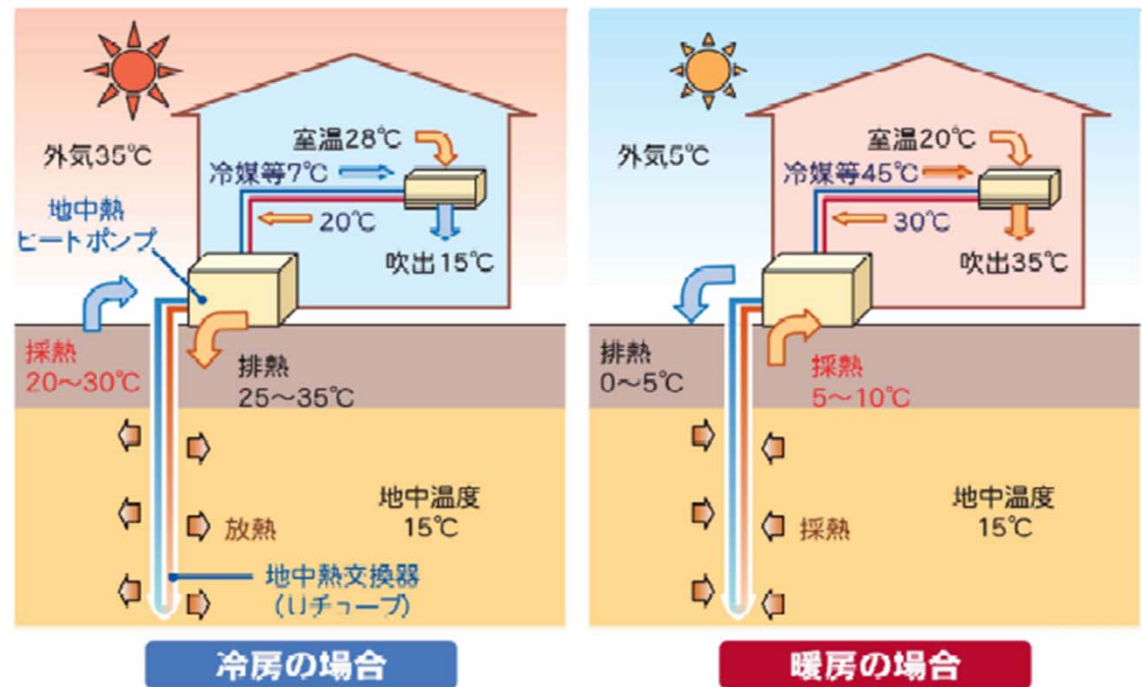


Ⅱ-5 環境配慮

- ・建築物の省エネ性能を高めるため、高効率型の機器を採用するほか、太陽光発電や地中熱等の再生可能エネルギー利用を導入し、環境への負荷低減を図ります。



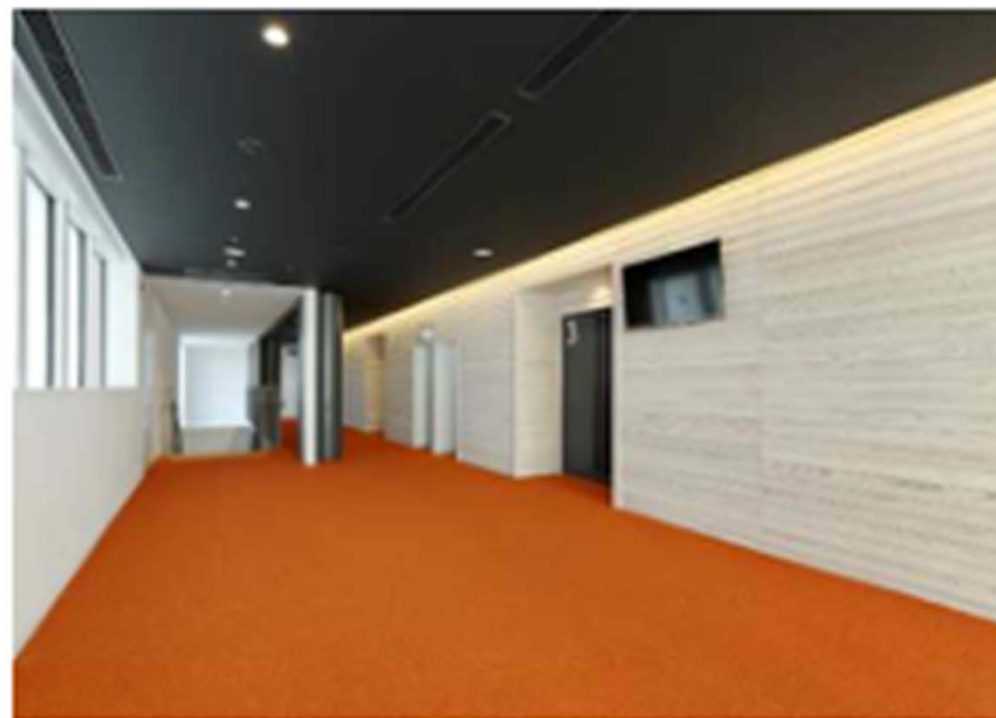
■ 横浜市役所の太陽光パネル
出典：横浜市新市庁舎紹介 パンフレット



■ 地中熱利用イメージ
出典：環境省 [2021年3月]
地中熱利用システム パンフレット

Ⅱ-5 環境配慮

- ・木質化に取り組むとともに、既存公園と連続した緑地を整備し、生物多様性の保全に配慮します。

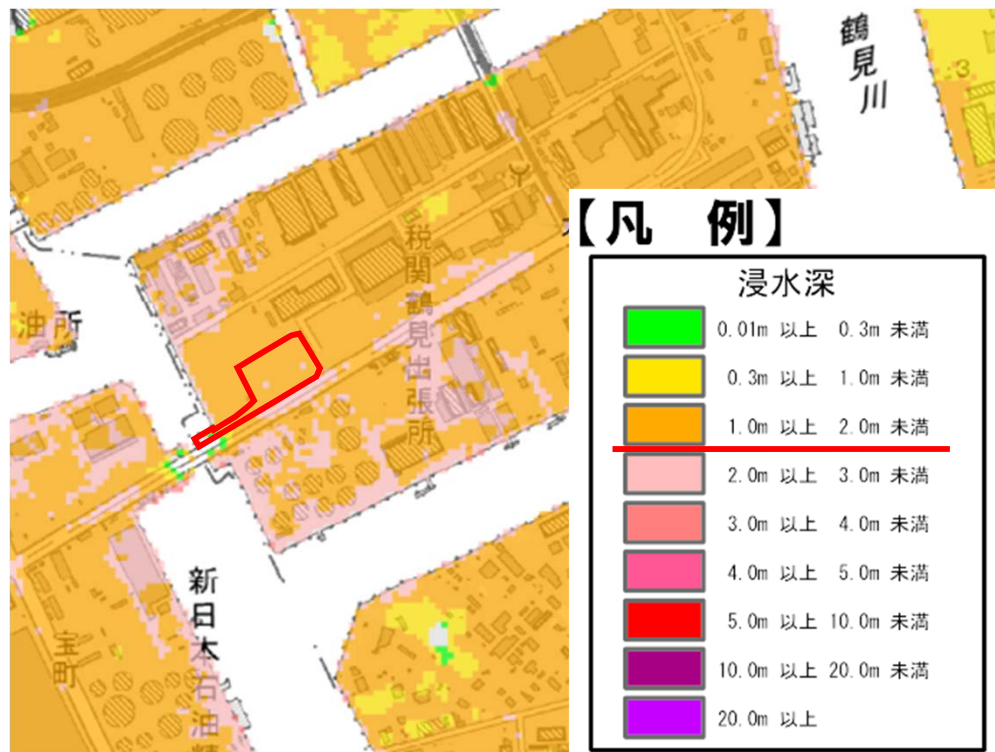
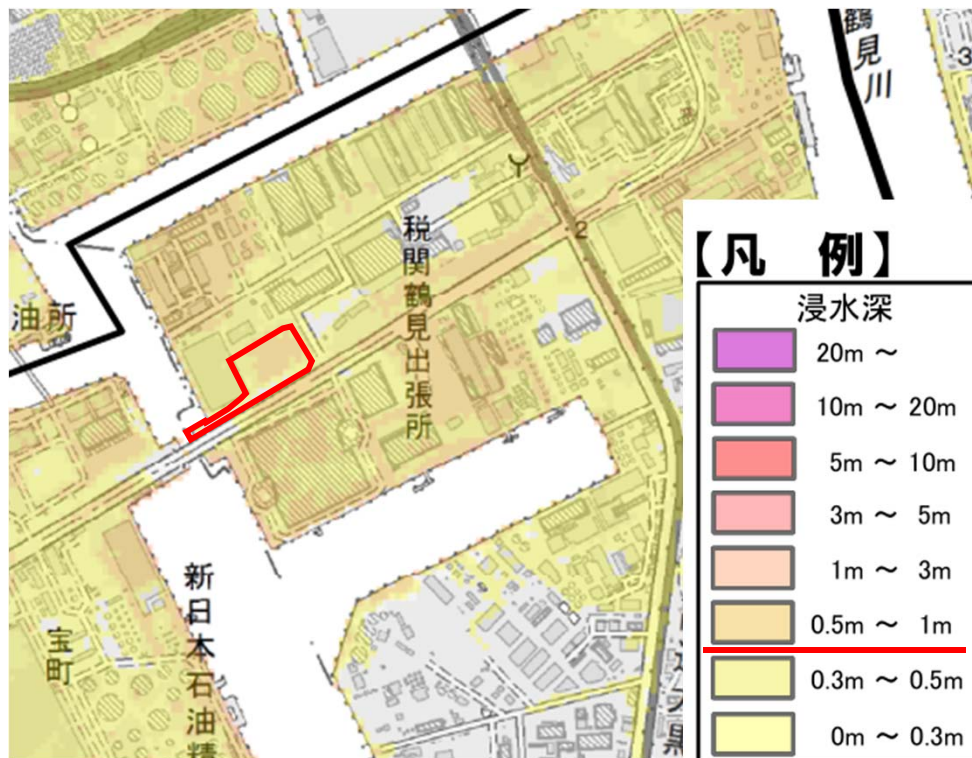


■南区総合庁舎の木質化

出典：神奈川県ホームページ 木造公共施設整備事業の事例

Ⅱ-6 災害対策

- 計画地は臨海部に位置するため、高潮（被害想定：0.5m～1m）や津波（被害想定：1m～2m）による浸水被害が想定されています。



■高潮浸水想定区域図

出典：神奈川県ホームページ

※高潮浸水想定区域図を加工しています

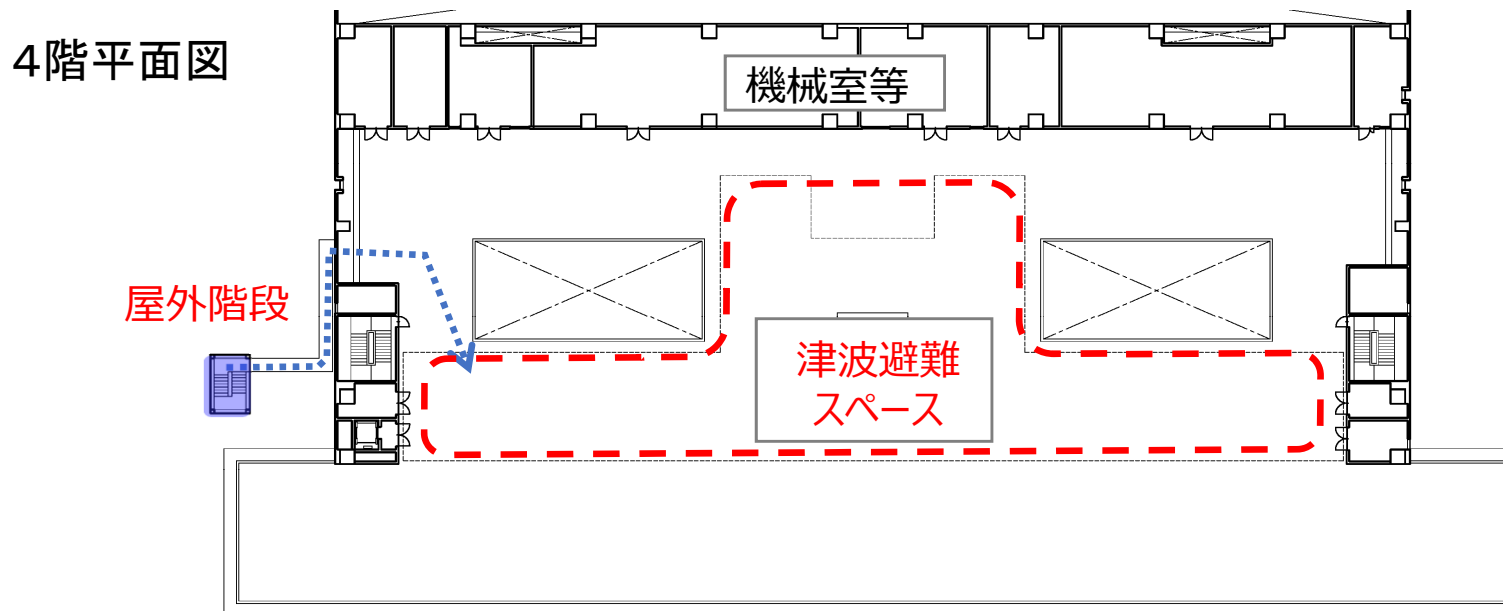
■津波浸水想定図

出典：神奈川県ホームページ

※津波浸水想定図を加工しています

Ⅱ－6 災害対策

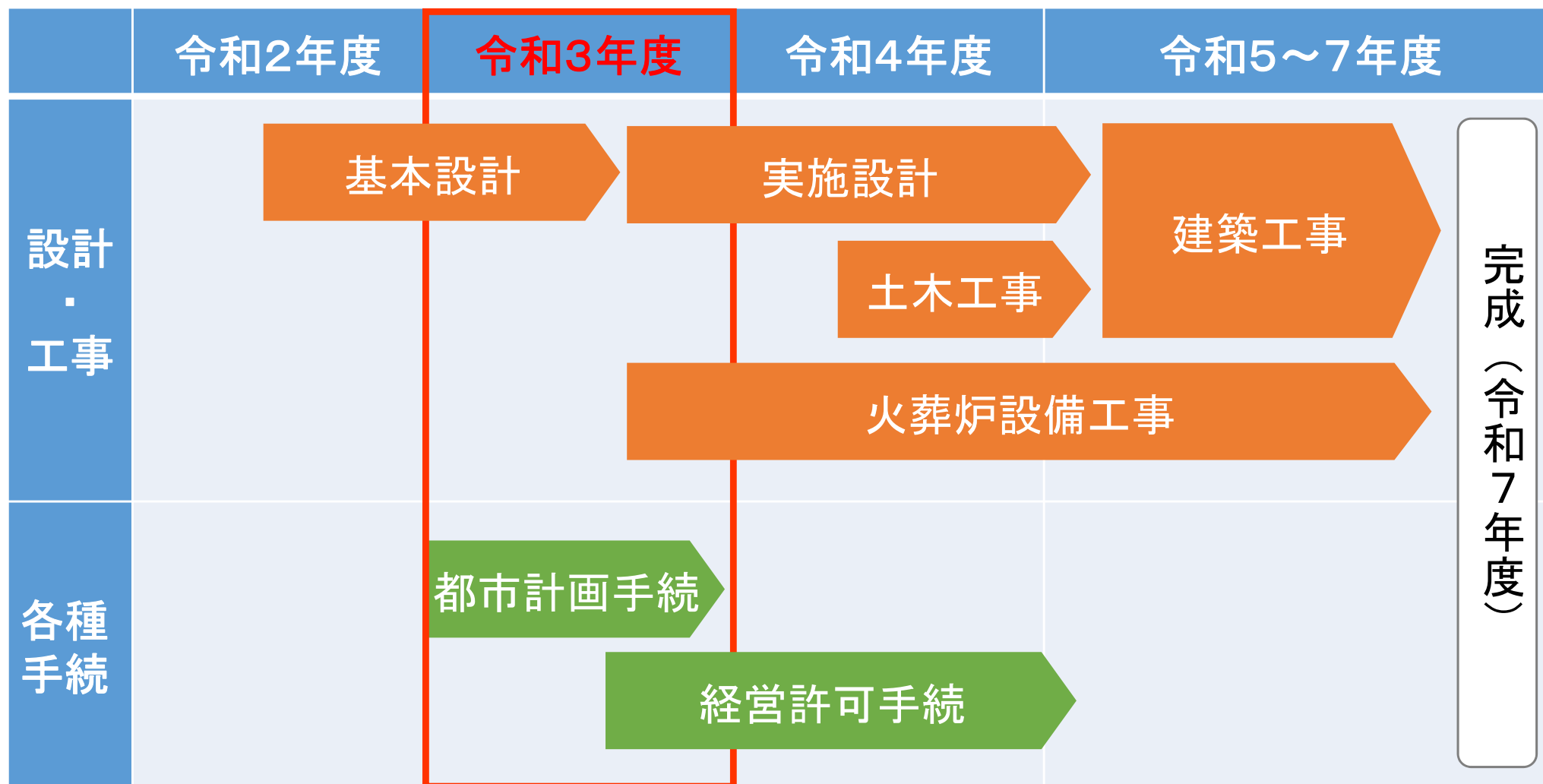
- ・1階床レベルを既存地盤から約1m高くするとともに、火葬炉や受変電設備等の重要機器は津波による浸水深以上に設置します。
- ・都市ガスや電力等のインフラが途絶した場合に備え、非常用発電機等の対策を検討しています。
- ・津波発生時には、斎場利用者のほか計画地周辺の方々の一時的な避難施設として活用できるように、屋上に避難スペースを確保し、斎場外部からアクセス可能な屋外階段を設けます。



目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計状況
- III 今後のスケジュール

Ⅲ-1 今後のスケジュール



※現時点での想定スケジュールです。事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

Ⅲ－２ 質問書の受付について



受付期間(回答予定日)

第1次

令和3年10月25日(月)から令和3年10月31日(日)まで
【令和3年11月5日(金) 回答公表予定】

第2次

令和3年11月1日(月)から令和3年11月7日(日)まで
【令和3年11月11日(木) 回答公表予定】

提出方法

質問書(任意様式)を、郵送・ファックス・Eメールのいずれかの方法で提出してください。いずれの場合も、質問受付期間内必着です。

提出・問合せ先

- 郵 送 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
健康福祉局 環境施設課 斎場整備担当あて
 - ファックス 045-664-6753
 - Eメール kf-kankyo@city.yokohama.jp
- (問合せ先) 電 話 045-671-4386